



地域の高齢者らが住み慣れた場所
 で安心して生活を続けられるよう
 に、地域全体でサポートする
 「地域包括ケアシステム」。その中
 で、地域医療の中心的役割を担い
 ます。そして、すべての市民から
 医療・保健全般で信頼される多様
 な機能を持ち合わせた医療機関を
 目指します。

受けられる医療

病床数

回復期病床の割合の増加
 急性期病床の維持

新病院

136 床

急性期 52 床
 回復期 80 床
 第二種感染症 4 床

現在

199 床

急性期 94 床
 回復期 99 床
 第二種感染症 6 床

診療科

現在の診療科を継続

内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科
 外科 整形外科 耳鼻咽喉科 産婦人科
 小児科 泌尿器科 眼科 精神科
 皮膚科 脳神経内科 放射線科 麻酔科
 リハビリテーション科

入院対応

内科系、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、
 皮膚科(褥瘡対応)を想定します。

2

1 階に外来と検査機能
 を集約。病棟を 2 階のワ
 ンフロアにまとめ、看護
 の充実を図ります。

1

24時間365日の救急体
 制を維持します。

5

病床数は、医療需要の
 減少、地域医療構想を踏
 まえ、回復期病床の割合
 を増やします。

4

災害時にも病院機能を
 維持し、地域の災害拠点
 としての機能を整備しま
 す。

3

現在の診療科を継続
 し、健診・人間ドック・
 リハビリテーションを強
 化します。

安心して
 受診・治療
 できるポイント



オンライン診療実証事業の様子

環境を整えていきます。

医師をサポートする「特定行為
 看護師の育成」や「医師事務作業
 補助者の確保」、「医療DXの推進」
 を進め、医師が治療に集中できる
 環境を整えていきます。

医師の仕事をサポート

市が医師確保に向けて中長期的
 に対応するため実施し、現在10名
 が貸付を受けている医学生向け奨
 学金制度のPRや、院内の医師確
 保に向けた体制を強化していきま
 す。地域全体で不足する医療資源
 や人的資源を補うため、メディカ
 ルタウン構想(5ページ参照)の
 中で、加西病院で不足する診療科
 の開業医の誘致を、市医師会と連
 携しながら検討していきます。

医師確保に向けて

安定した医療を提供す
 るための環境づくり

特集 市立加西病院 新病院基本構想・基本計画

安心の暮らしを支える 市民の病院をめざして

1月29日、市立加西病院 新病院に係る基本構想・基本計画検
 討委員会は「市立加西病院 新病院基本構想・基本計画」を高橋
 市長に答申しました。新病院で、どのような医療を受けられるの
 かを中心に伝えします。

問合せ 新病院に関すること：市立加西病院 ☎ 2200

これまでの流れ

加西病院は、昭和49年に現在の
 場所に建設されてから50年が経過
 し、耐震基準や老朽化が課題と
 なっています。平成30年度から建
 て替える向け検討を進めてきまし
 たが、建設費用の倍増が想定され
 るなど新たな課題が出てきまし
 た。適正な規模や設置場所などの
 検討を踏まえ、令和5年度に現地
 建て替えから、別の場所での建設
 に計画を変更しました。

令和6年1月に「市立加西病院
 新病院に係る基本構想・基本計画
 検討委員会」(委員長／加古川市
 民病院機構 大西祥男理事長)を
 設置し、高橋市長の諮問に対して、
 委員会を5回実施して検討を重ね
 てきました。市は、答申に基づき、
 令和12年開院を目指して準備を進
 めていきます。



高橋市長(右)に答申を手渡す大西祥男
 委員長(中央)と濱本泰秀副委員長(左)

地域・患者・働くものにとって
 魅力的な病院に

患者

診療・療養環境 の充実

在宅医療の充実

患者やその家族が退
 院後も安心して過ご
 せるよう、在宅医療
 を強化します。

患者にとって単なる
 治療の場ではなく、
 元気に退院できる病
 院を目指します。

働く

働く環境の充実

加西病院を支える職
 員に、「働きたい」と
 思われる職場を目指
 します。

地域

予防医療の充実

健康増進、病気の早
 期発見を目指し、市
 民・地域の健康に寄
 り添います。

基本方針

- ・地域住民の健康を守り、心安らぐ病院づくりを目指します
- ・患者に寄り添った、安全、良質、最善の医療を提供します
- ・医療・介護・福祉の地域連携を推進し、切れ目のない医療を提供します
- ・働きがいのある職場環境を整え、教育、研修で良き医療人を育成します
- ・健全経営で活力ある持続可能な病院運営を行います

新病院の目指す姿